

【4】インシデント事例からの注意喚起

院内インシデント報告の中から、医薬品を安全に使用するために注意すべき事例などを挙げています。

インスリン製剤等の開封後の期限について

インスリン製剤等の自己注射薬について、外箱に表記された使用期限は未開封の場合の期限を指します。開封後の保管方法、使用期限は製品毎に異なります。今回、インスリン製剤ならびに GLP-1 受容体作動薬の開封後の期限について一覧表を作成しましたので、ご参照下さい。

インスリン製剤および GLP-1 受容体作動薬の開封後使用期限一覧

| 商品名 | デバイス名 | 一般名 | 保存法 | 開封後 使用期限 |
|----------------|--|-------------|-------|-------------|
| 超速効型インスリン製剤 | | | | |
| ルムジェブ注 | ミリオペン  | インスリン リスプロ | 30℃以下 | 28 日間 |
| | カート  | | | |
| | 100 単位/mL (V)  | | 30℃以下 | 28 日間 |
| ヒューマログ注 | ミリオペン  | インスリン リスプロ | 30℃以下 | 28 日間 |
| | カート  | | | |
| インスリンリスプロ BS 注 | ソロスター  | インスリン リスプロ | 30℃以下 | 28 日間 |
| | カート  | | | |
| | 100 単位/mL (V)  | | 2～8℃ | 28 日間 |
| フィアスプ注 | 100 単位/mL (V)  | インスリン アスパルト | 30±2℃ | 28 日間 |

| | | | | |
|------------------------------------|---|----------------------------|--------------|-------|
| ノボラピッド注 | フレックスタッチ  | インスリン アスパルト | 30℃以下 | 28 日間 |
| | ペンフィル  | | | |
| | イノレット  | | | |
| アピドラ注 | ソロスター  | インスリン グルリジン | 25±2℃ | 28 日間 |
| | 100 単位/mL (V)  | | 2~8℃ | 28 日間 |
| 速効型インスリン製剤 | | | | |
| ヒューマリン R 注 | カート  | ヒトインスリン | 30℃以下 | 28 日間 |
| | 100 単位/mL (V)  | | 2~8℃ | 28 日間 |
| 混合型インスリン製剤 | | | | |
| ヒューマログミックス 50 注 | ミリオペン  | インスリン リスプロ | 30℃以下 | 28 日間 |
| ノボラピッド 30 ミックス注 | フレックスペン  | 二相性プロタミン結晶性 インスリン アスパルト | 30℃以下 | 28 日間 |
| ノボリン 30R 注 | フレックスペン  | 生合成ヒト二相性 イソフェンインスリン | 30℃以下 | 42 日間 |
| 配合溶解インスリン製剤 (超速効型インスリン+持効型溶解インスリン) | | | | |
| ライゾデグ配合注 | フレックスタッチ  | インスリン デグルデク インスリン アスパルト | 30℃以下 | 28 日間 |
| 持効型溶解インスリン製剤 | | | | |
| インスリン グラルギン BS 注 | ミリオペン  | インスリン グラルギン | 30℃以下 の室温 | 28 日間 |
| ランタス XR 注 | ソロスター  | インスリン グラルギン | 25±2℃ | 42 日間 |
| トリーバ注 | フレックスタッチ  | インスリン デグルデク | 30℃以下 の室温 | 56 日間 |

| | | | | |
|--------------------------------------|---|------------------------|-------|-------|
| レベミル注 | フレックスペン  | インスリン デテミル | 30℃以下 | 42 日間 |
| | ペンフィル  | | | |
| | イノレット  | | | |
| GLP-1 受容体作動薬 | | | | |
| ビクトーザ皮下注 18mg | -  | リラグルチド | 30℃以下 | 30 日間 |
| リクスマア皮下注 300 μg | -  | リキシセナチド | 25℃以下 | 30 日間 |
| トルリシティ皮下注 0.75mg | アテオス  | デュラグルチド | 30℃以下 | 14 日間 |
| オゼンピック皮下注 S D 0.25mg /0.5mg/1.0mg | -  | セマグルチド | 30℃以下 | 56 日間 |
| 持効型溶解インスリン・GLP-1 受容体作動薬 配合製剤 | | | | |
| ゾルトファイ配合注 | フレックスタッチ  | インスリン デグルデク リラグルチド | 30℃以下 | 21 日間 |
| | | | 25℃以下 | 28 日間 |
| ソリクア配合注 | ソロスター  | インスリン グラルギン リキシセナチド | 25±2℃ | 31 日間 |

※インスリン製剤は遮光保存であるため、キャップもしくは外箱等に入れて保管すること

※開封後の使用期限について、添付文書上に「～週間」と記載があるものは、日数に換算

個人別インスリン管理方法

- 1患者ごと1トレイを使用し、個別にインスリンとリムーバーを収納する。
- トレイには患者氏名を表記する。
- インスリンには、本体、キャップそれぞれに氏名、開封日をわかりやすく表記する。